

学期	学校行事	道徳	特 活		教 科								外国語活動	総合的な学習の時間	地域・家庭との連携
			学級活動	クラブ・児童会委員会	国語	社会	算数	理科	音楽	図工	家庭	体育			
1	「運動会」 ○友達と協力しながら、あきらめずに最後まで自分の力を発揮させる。 ●運動会の練習を通して、自分の目当てや全体の目当てに向かってあきらめずに取り組もうとする。 【もとめる】	「もっこをせおつて」 ○働くことの大切さを知り、進んでみんなのために働くこととする心身を育てる。 ●体験的な活動の場を通して、働くことや社会に対する奉仕や公共の役に立つ喜びを感じる。 【はたす】	「係活動で楽しい学級にしよう」 ○自分たちの力で学級生活を豊かにするための係を決めさせる。 ●学級をよりよくするための係活動を行う工夫を工夫させ、進んで役割を果たす。 【はたす】	「1年生を迎える会」 ○入学したばかりの1年生を優しい気持ちで迎えさせる。 ●1年生の立場や気持ちを考えながら、1年生を迎える会を行い、上学年としての自覚と役割を考 【かかわる】 【はたす】	「案内係になろう」 ○相手が知りたいことを考え、必要なことを選んで話させる。 ●相手の立場や気持ちを考えながら、尋ねたり、答えたりする。 【かかわる】	「くらしを守る」 ○地域の関係機関が人々の安全を守るために活動していることを学習し、地域社会の一員として協力する大切さに気付かせる。 ●集団や社会の一員としての役割に気付かせ、自分のできることを考える。 【はたす】		「あたたかくなる」と ○ヘチマの種をまき、育ち方と気温の関係を調べさせる。 ●植物への興味と愛情を育む。 【かかわる】 「暑くなると」 ○ヘチマの生長を観察させる。 ●植物の成長を喜び合う心身を育てる。 【かかわる】	「拍の流れののってリズムを感じ取ろう」 ○拍の流れののって表現させる。 ●拍の流れののり、友達と一緒に演奏するおもしろさを味わう。 【かかわる】	「いい場所見つけて囲んでみよう」 ○いつも使っている場所やものを透明なシートや新聞紙で包み、包んだ場所やものの様子が変わることを楽しむ。 ○友達と協力し、包み方を工夫して仕上げさせる。 ●互いのよさや友達と協力する大切さに気付く。 ●制作活動の中で自分の役割を自覚する。 【かかわる】 【はたす】			「古川やさしさ探検隊」 ●発表に向けての話し合い活動を通して、集団の一員としての役割を果たそうとする。 ●友達のよさや頑張りを見つめさせ、互いに協力し合ってよりよい表現に削り上げていく意欲を高める。 【かかわる】 【もとめる】	「学年だより」 「学級だより」 ○学校の様子を家庭に知らせる。 ●保護者と協力し、よりよい学校生活を築こうとする態度を養う。 【もとめる】	
2	「学芸会」 ○友達と協力し合いながら、自分たちでよりよいものを創らせる。 ●集団の中で自分の役割を果たす。 【はたす】 「修了式」 ○1年間を振り返り、自分の成長を確かめると共に、高学年の仲間入りをすすめる心構えを持たせる。 ●これまで支えてくれた方々への感謝の気持ちをもち、高学年に向けての目当てをもつ。 【もとめる】 【かかわる】	「うめのみ村の四人兄弟」 ○自分の特徴に気づき、よさをのびそうとする心身を育てる。 ●自分自身のよさを認め、それを伸ばしていこうとする。 【もとめる】 「大きな絵はがき」 ○友達と互いに信頼し合い、ときには忠告し合いながら友情を深めていくこととする心身を育てる。 ●友達のよさを認め合い、互いに信頼することの大切さを自覚し、励まし合う。 【かかわる】	「学芸会を成功させよう」 ○友達と協力し、学芸会を成功させるための目標を決めさせる。 ●話し合い活動を通して、集団の一員としての役割を果たそうとする意欲を高める。 【はたす】 「心のもったあいさつ」 ○あいさつは、元気がよく出すことのほかに、会釈、握手などがあることを知らせ、相手や場所に応じて使い分けさせる。 ●人と気持ちよくかかわることができようないさつを身に付ける。 【かかわる】	「6年生を送る会」 ○これまでお世話になった6年生に感謝の気持ちを表す会にさせる。 ●6年生に対する感謝の気持ちを感じながら、積極的に集会に参加する。 【もとめる】 【かかわる】	「お願いやお礼の手紙を書こう」 ○目的に合わせて内容を考え、必要な事柄を落とさず、依頼状や礼状などの手紙を書かせる。 ●相手意識を持ち、あいさつや文末表現において敬体などの丁寧な言葉を使う。 【かかわる】	「きょう土のはってんにつくす」 ○品井沼干拓について理解し、それをつくった人々の苦勞や願い等を理解させる。 ●集団や社会の一員としての役割に気付く。 【もとめる】	「がい数の表し方」 ○概数について理解し、目的に応じて、概数を用いたり四則計算の見積もりをしたりすることができるようにする。 ●生活や学習で四則計算の見積もりを用いるようにする。 【もとめる】	「すずしくなる」と ○ヘチマの実や枯れ方を調べさせる。 ●寒くなったときの植物の様子から自然の流れを感じ取る。 【もとめる】	「いろいろな音のひびきを感じ取ろう」 ○旋律や音が重なり合う響きを感じ取りながら、思いや意図をもって表現したり想像豊かに聴かせる。 ●よりよいものをつくるために、友達とかかわることの大切さに気付かせる、最後まで取り組もうとする。 【かかわる】 【もとめる】	「みんなでどんどんむすんでつないで」 ○すきな場所をいろいろな材料を使って変身させる。 ○友達と協力して楽しい場所に変身させる。 ●互いのよさや友達と協力する大切さに気付く。 ●制作活動の中で自分の役割を自覚する。 【かかわる】 【はたす】 「ハッピーカード」 ○飛び出すしくみを使って、楽しいカードや絵本を作らせる。 ●1/2成人式の招待状を感謝の気持ちを伝えるために、創意工夫を凝らして作成する。 【かかわる】 【もとめる】		「大きくなってきたわたし」 ○身長や体重が年齢に伴って変化することや、発達のしかたには個人差があることを理解させる。 ●これまでの自分を振り返り、支えてくれた人への感謝の気持ちを持つ。 ●「二分の一成人式」を通して、自らの生活を振り返り、将来の夢について考える。 【かかわる】 【もとめる】 「縄跳び」 ○短縄でいろいろな跳び方をしたり、新しい跳び方に挑戦したりして楽しませる。 ○友達と協力しながら長縄とびに挑戦して楽しませる。 ●互いのよさにや友達と協力する大切さに気付く。 【かかわる】	「二分の一成人式をしよう」 ○「二分の一成人式」へ向けてこれまでの10年・これからの10年を考慮することで、将来への夢や希望を膨らませる。 ●これまでの自分を振り返り、支えてくれた人への感謝の気持ちを持つ。 ●「二分の一成人式」を通して、自らの生活を振り返り、将来の夢について考える。 【かかわる】 【もとめる】		

